



【読売新聞】令和5年4月29日付
実際の紙面を一部加工して転載しています

文科省が教員の勤務
実態調査結果を発表。
月45時間を超える時
間外勤務をした小学校



東垣 典雄議員

小・中学校教職員の勤務実態を問う 勤務時間適正化と改善に取り組めます



教諭は64.5%中学校教諭は、77.1%に国が示す「過労死ライン」(残業月80時間)にもそれぞれ14.2%、36.6%が該当との報道。

香美町の調査について

- ① 現状の勤務実態は
- ② 長時間労働解消の対策と実施状況は
- ③ 今後の課題について

問う。

教育長 ① 現状の勤務実態は、月45時間を超える時間外勤務をした小学校教諭は32%中学校教諭は53%また、月80時間を超える超過勤務は小学校は0%中学校は2%です。

② 勤務時間適正化検討委員会を開催し業務改善を

行っており超過勤務時間の把握と管理体制を整えております。また、全小・中学校にスクールサポートスタッフを配置、教職員の負担軽減を行っています。

③ ICTの活用状況の把握と検証、学校管理文書の簡素化の検討など業務改善に向けて取り組めます。



この消火栓水を出せる？



見塚 修議員

去る5月に開催された香住区自治会・区長会の中で消火栓の話題があった。初期消火に重要な消火栓の実態と課題、改善策をどう進めるのか。

危機管理の面から考

町長 消火栓の点検は、消防団の月例点検、訓練等の機会に行っています。通常の消火栓の修繕は、点検結果等を踏まえ、毎年秋の要望提出により

優先順位をつけ、全体を見ながら行っています。今回の緊急点検の結果、報告のあったものは27か所です。不具合の内容は開閉困難、固定ボルトの劣化や漏水などです。漏れの2か所は既に修繕し、10か所は既決の予算で対応します。残りの15か所は今年度補正もしくは、来年度以降に対応の予定です。

消火栓の実態、課題、改善策 2か所修善済、緊急度の高いものから

